



Delphion

[ABOUT DELPHION](#)
[PRODUCTS](#)
[NEWS & EVENTS](#)
[MY ACCOUNT](#)
IP SI

[Log Out](#)
[Order Form](#)
[Work Files](#)
[View Cart](#)
[Browse Codes](#)
[IP Listings](#)
[Prior Art](#)
[Derwent](#)
[Advanced](#)
[Boolean](#)

The Delphion Integrated View

Other Views:
[INPADOC](#) | [Derwent...](#)

Title: **JP10013768A2: PANEL COVER FOR PDP DISPLAY DEVICE**

Country: **JP Japan**

Kind: **A**

Inventor(s): **ISHIKAWA TAKAHIRO**

Applicant/Assignee
 [Inquire Regarding Licensing](#)

Issued/Filed Dates: **Jan. 16, 1998 / June 20, 1996**

Application Number: **JP1996000159447**

IPC Class: **H04N 5/65; H05K 5/03;**

Priority Number(s): **June 20, 1996 JP1996000159447**

Abstract:



Problem to be solved: To provide a means not to give damages to a plasma display panel(PDP) even when an undesired external force is exerted to the PDP in the case of packaging or transportation.

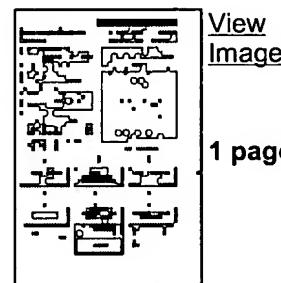
Solution: A box shaped package made of a resin or the like having an opening 10a is adopted for a panel cover 10 of the PDP display device. The inner longitudinal/lateral diameter of the opening 10a of the panel cover 10 is selected slightly larger than the outer longitudinal/lateral diameter of the display face of the PDP display device so as to be freely fitted to the display face side of the PDP display device. In the case of packaging or transportation of the PDP display device, the panel cover 10 is fitted to the display side of the PDP display device and in the case of displaying a television video image or the like on the PDP display device, the panel cover 10 is removed.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

Family: [Show known family members](#)

Other Abstract Info: DERABS G98-137505 DERRG98-137505

Foreign References: No patents reference this one



BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-13768

(43)公開日 平成10年(1998)1月16日

(51)Int.Cl.⁶

H 04 N 5/65
H 05 K 5/03

識別記号

府内整理番号

7301-4E

F I

H 04 N 5/65
H 05 K 5/03

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全4頁)

(21)出願番号

特願平8-159447

(22)出願日

平成8年(1996)6月20日

(71)出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72)発明者 石川 孝浩

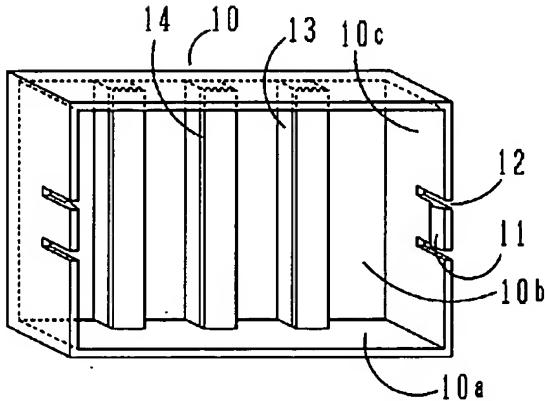
川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士
通ゼネラル内

(54)【発明の名称】 PDP表示装置のパネルカバー

(57)【要約】

【課題】 梱包時や運搬時にPDPに不必要な外力を加えた場合でもPDPを破損しないようにする手段を提供する。

【解決手段】 PDP表示装置20のパネルカバー10は構成樹脂等からなる開放口10aを有する箱形の容器である。パネルカバー10の開放口10aの縦横の内径は、PDP表示装置の表示面側の縦横の外径寸法より僅かに大きくして、PDP表示装置の表示面側に脱着自在に取り付けられるようにする。PDP表示装置の梱包時や運搬時には、パネルカバー10をPDP表示装置の表示面側に取り付けて取り扱い、PDP表示装置にテレビ映像等を表示するときには、パネルカバー10を外して使用をする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 PDP(プラズマディスプレイパネル)を用いた、テレビ映像等を表示するPDP表示装置のPDP前面に取り付ける、一方が開放した箱型の容器からなるパネルカバーであって、同パネルカバーの開放口の縦方向及び横方向の内径寸法は同PDP表示装置の縦方向及び横方向の内径寸法より僅かに大きいものとし、同PDP表示装置の運搬時等には同パネルカバーを同PDPの前面に装着し、同PDP表示装置を表示するときは同パネルカバーを外して使用することができる脱着自在なPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項2】 前記パネルカバーは合成樹脂からなることを特徴とした請求項1記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項3】 前記パネルカバーの開放口側の少なくとも対向する2面の内側の開放端付近に、内側に向かって隆起する凸部を突設し、同凸部でPDP表示装置の側面等を挟持してPDP表示装置に装着するようにすることを特徴とした請求項1記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項4】 前記凸部の両側には前記開放端と直角方向に切り込みを設けることを特徴とした請求項3記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項5】 前記PDP表示装置の側面に凹部を有するときは、同凹部に合わせて前記凸部を設けることを特徴とした請求項3記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項6】 前記パネルカバーの開放口に対向する奥面の内側には、同奥面から直角に立ち上がるリブを設けることを特徴とした請求項1記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項7】 前記リブの開放口側の面には、フェルト等の柔軟なマットを設けることを特徴とした請求項6記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項8】 前記リブは、前記パネルカバーの本体と一体で成形することを特徴とした請求項6記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【請求項9】 前記リブは、合成樹脂等からなる角柱状の棒を前記パネルカバーの奥面に固着して形成することを特徴とした請求項6記載のPDP表示装置のパネルカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、テレビ映像等を表示するPDP表示装置の前面に脱着自在に取り付けるPDP表示装置のパネルカバーに関する。

【0002】

【従来の技術】 薄型で大画面表示が可能な表示装置としてPDP表示装置がある。CRTを用いた表示装置では、真空容器としてのCRTは必然的に肉厚のガラスを

使用することとなり非常に重くなるという問題があるが、外力に対しては堅固である。一方、PDPはCRTに比べて格段に軽量化できるが肉厚の薄いガラスを使用することとなるため、梱包時や運搬時にパネル面に誤って不必要的外力を加えた場合には、PDPが破損するおそれがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は上記問題点に鑑みされたもので、梱包時や運搬時にPDPに不必要的外力を加えた場合でもPDPを破損しないようにする手段を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 内径がPDP表示装置の表示面の縦横外径寸法より僅かに大きく、PDPの表示面に脱着自在に取り付けられる、一方が開放した箱型の容器からなるパネルカバーを用いて、梱包時や運搬時には同パネルカバーをPDPの前面に装着して取り扱うようにして、PDPに不必要的外力が加わわってもPDPが破損しないようにする。

【0005】

【発明の実施の形態】 一方が開放した箱型の容器からなるパネルカバーを準備する。開放口の縦方向及び横方向の内径寸法をPDP表示装置の縦方向及び横方向の内径寸法より僅かに大きくする。PDP表示装置の運搬時等には同パネルカバーをPDPの前面に装着し、PDP表示装置を表示するときには同パネルカバーを外して使用するようとする。

【0006】 パネルカバーは合成樹脂で形成する。

【0007】 パネルカバーの開放口側の少なくとも対向する2面の内側の開放端付近に、内側に向かって隆起する凸部を突設しておく。同パネルカバーをPDP表示装置に装着時には、同凸部でPDP表示装置の側面等を挟持するようとする。

【0008】 凸部の両側には開放端と直角方向に切り込みを設ける。

【0009】 PDP表示装置の側面に凹部を有するときは、同凹部に合わせて前記凸部を設ける。

【0010】 パネルカバーの開放口に対向する奥面の内側には、同奥面から直角に立ち上がるリブを設ける。

【0011】 リブの開放口側の面には、フェルト等の柔軟なマットを設ける。

【0012】 リブは、パネルカバーの本体と一体で成形する。

【0013】 あるいは、リブは合成樹脂等からなる角柱状の棒をパネルカバーの底面に固着して形成する。

【0014】

【実施例】 図1は、本発明によるPDP表示装置のパネルカバーの1実施例の開放口側斜視図、図2は同パネルカバーのPDP表示装置への装着時の(A)平面図(同図c-c断面)、(B)背面図(開放口側)、(C)側

面図である。PDP表示装置20のパネルカバー10は合成樹脂等からなる開放口10aを有する箱形の容器である。パネルカバー10の開放口10aの縦横の内径は、PDP表示装置20の表示面側の縦横の外径寸法より僅かに大きくして、PDP表示装置の表示面側に脱着自在に取り付けられるようにする。PDP表示装置20の梱包時や運搬時には、パネルカバー10をPDP表示装置20の表示面側に取り付けて取り扱い、PDP表示装置にテレビ映像等を表示するときには、パネルカバー10を外して使用する。

【0015】パネルカバーの両側面10c、10cの開放口10a側の内側に、パネルカバーの内側に向かって隆起する凸部11、11を突設する。パネルカバー10をPDP表示装置20に取り付けるときは、凸部11でPDPの側面を挟持してPDP表示装置に装着するようになる。なお、凸部11は側面だけでなく上下面の内側に設けても良い。あるいは、上下左右の面に設けてもよく、更には各面に複数個設けることもできる。凸部11の上下両側には、開放口10aの端部に直角方向に切り込み12、12を設ける。

【0016】パネルカバー10の開放口10aに対向する奥面10bの内側には奥面10bから直角に立ち上がるリブ13を形成する。リブ13は、パネルカバー10本体と一体で成形することができる。あるいは、合成樹脂等からなる角柱状の棒を接着材等でパネルカバー奥面10bに張り付けて形成することもできる。リブの開放口側の面には、フェルト等の柔軟なマット14を張り付けておく。

【0017】図3は、本発明によるPDP表示装置のパネルカバーの別の実施例の平面図(断面)である。上記と同様にPDP表示装置40のパネルカバー30は合成樹脂等からなる開放口を有する箱形の容器からなる。パネルカバーの両側面の開放口側の内側には、凸部31、31を突設する。例えばPDP表示装置の側面の前方40aが大きく、後方40bが小さくなっていて、その間に前方から見て凹部を有するときは、凸部31の位置、寸法等はその凹部に合わせて形成する。

【0018】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載するような効果を奏する。

【0019】一方が開放した箱型の容器からなるパネルカバーであって、パネルカバーの開放口の縦方向及び横方向の内径寸法はPDP表示装置の縦方向及び横方向の内径寸法より僅かに大きいものとし、PDP表示装置の運搬時等には同パネルカバーをPDPの前面に装着し、PDP表示装置を表示するときには同パネルカバーを外して使用するようにすることで、梱包時や運搬時にPDPに不必要な外力が加わわってもPDPが破損するよう

なことが無くなる。したがって安心して梱包等の作業ができ、作用の能率が上がる。

【0020】パネルカバーは合成樹脂で形成することで、確実に脱着自在に装着できるパネルカバーが得られる。

【0021】パネルカバーの開放口側の少なくとも対向する2面の内側の開放端付近に、内側に向かって隆起する凸部を突設して、同凸部でPDPの側面等を挟持してPDP表示装置に装着するようになることで、パネルカバーの装着が確実となる。

【0022】凸部の両側には開放端と直角方向に切り込みを設けることで、パネルカバーの脱着がスムーズとなる。

【0023】PDP表示装置の側面に凹部を有するときは、同凹部に合わせて前記凸部を設けることで、パネルカバーの装着がさらに確実なものとなる。

【0024】パネルカバーの開放口に対向する奥面の内側には、同奥面から直角に立ち上がるリブを設けることで、パネルカバーの機械的な強度が増大して堅固なものとなる。

【0025】リブの開放口側の面には、フェルト等の柔軟なマットを設けることで、同リブがPDP表示装置の前面に接触しても、同前面に傷をつけるようなことがなくなる。

【0026】リブは、パネルカバーの本体と一体で成形することで、堅固なリブが形成できる。

【0027】リブは、合成樹脂等からなる角柱状の棒をパネルカバーの底面に固着して形成することで、簡単にリブが構成できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるPDP表示装置のパネルカバーの1実施例の開放口側斜視図である。

【図2】同パネルカバーのPDP表示装置への装着時の(A)平面図(同図c-c断面)、(B)背面図(開放口側)、(C)側面図である。

【図3】本発明によるPDP表示装置のパネルカバーの別の実施例の平面図(断面)である。

【符号の説明】

10 パネルカバー

11 凸部

12 切り込み

13 リブ

14 マット

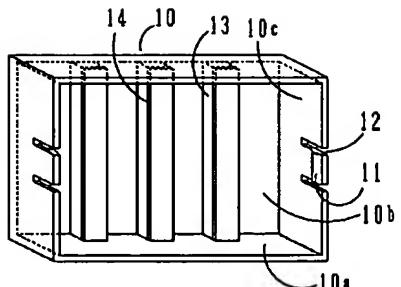
20 PDP表示装置

30 パネルカバー

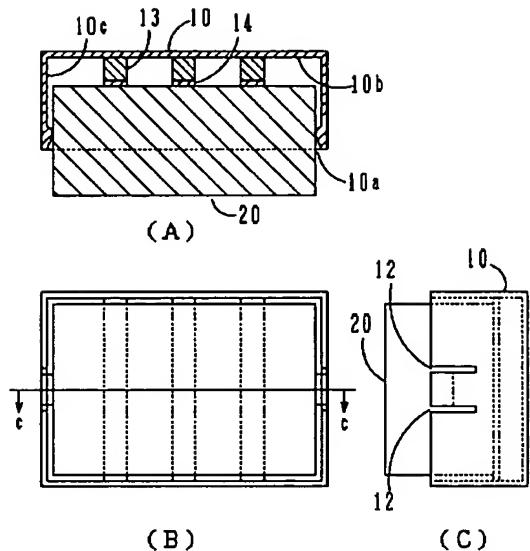
31 凸部

40 PDP表示装置

【図1】



【図2】



【図3】

